

平成 28 年 3 月 2 日

各 位

東京都台東区東上野一丁目 7 番 15 号  
ヒューリック東上野一丁目ビル 5 階  
株式会社エヌ・ピー・シー  
代表取締役社長 伊藤 雅文  
(コード番号：6255 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部長 廣澤 一夫  
(TEL 03-6240-1206)

## トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社との受託加工契約締結に関するお知らせ

当社は、トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区。社長：陳擘。以下、「トリナ・ソーラー」という。）と、太陽光パネルの受託加工に関する長期契約を締結しましたので、その詳細について下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 受託加工契約の概要

内 容： トリナ・ソーラーブランドの太陽光パネルの受託加工（OEM 生産）  
期 間： 平成 28 年 4 月から平成 30 年 12 月まで  
受 託 量： 太陽光パネル約 130MW相当／年

#### 2. トリナ・ソーラーの概要

同社は Trina Solar Ltd.（中国）が 100%出資する日本法人であり、日本市場向けの販売子会社です。なお、Trina Solar Ltd. は中国における太陽光発電業界のパイオニアであり、2014 年度の太陽光パネルの出荷量で世界シェアナンバー 1 の企業（リサーチ会社 IHS 及び PV-Tech 社等の調査結果による）です。

#### 3. 契約締結の背景

海外メーカーを含む世界中の大手太陽電池メーカーは、安定した需要が見込める日本の住宅向け太陽電池市場に対する取り組みを強化しようとしています。一方で、日本国内の消費者は、依然としてメイド・イン・ジャパンの太陽光パネルを根強く要求する傾向があります。

そのような状況下、業界を代表する大手太陽電池メーカーであるトリナ・ソーラーも日本の住宅向け市場に対する取り組みを強化する中で、当社の受託加工事業は同社の販売戦略に合致するものでありました。また、当社が受託加工事業で培った業界内での評判や実績も高く評価され、同社と受託加工契約を締結するに至りました。

4. スケジュール

平成 28 年 2 月	受託加工契約の締結 生産準備（製造ラインの最適化、仕様変更、テスト生産等）
平成 28 年 4 月	テスト生産の実施
平成 28 年 5 月	本生産の開始

5. 契約締結の効果及び今後の見通し

本契約は、トリナ・ソーラーが国内住宅市場ニーズに合致した当社製の高品質なメイド・イン・ジャパン製品を提供することで、同社の日本市場での知名度及びブランド力の向上に繋がると考えています。一方で、本契約は当社においても長期的な業績貢献に繋がり、また、世界トップの企業と取組むことが業界内での当社の評判を更に高めることに繋がると考えております。

本契約により、トリナ・ソーラー及び当社両社のノウハウやの技術を融合させ、高品質でコストパフォーマンスに優れた太陽光パネルを提供してまいります。また、太陽光パネルを販売する際にも両社で協力体制を構築し、国内の太陽光発電の普及に貢献してまいります。

なお、本件が今期業績に与える影響につきましては、平成 28 年 1 月 8 日に公表している「業績予想の修正に関するお知らせ」に織り込み済みであります。

以上